

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	建築学C A D演習	
科目基礎情報							
科目番号	94031			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建設工学専攻C			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	前期:4		
教科書/教材	特に指定しない／適宜資料等を閲覧、配布、「Vector Works 徹底解説 基本編（活用編）」長谷部真 著 エクスナレッジ						
担当教員	三島 雅博,前田 博子						
到達目標							
(ア) 2次元及び3次元CADの基本操作技術が身についている。 (イ) 発想、コンセプトが豊かである。 (ウ) 3次元C A Dの特性が発揮された作品である。 (エ) より高度なCADの技術の習得とプレゼンテーションに対する努力が提出物に表現されている。 (オ) プレゼンテーション（作品発表）によって、設計の意図を十分に伝達することが出来、また、質疑に対し適切な説明が出来る。 (カ) 与えられた期間内に課題を作成する計画をたて、提出できる。							
ルーブリック							
	最低限の到達レベルの目安(優)			最低限の到達レベルの目安(良)		最低限の到達レベルの目安(不可)	
評価項目(ア)	2次元及び3次元CADの基本操作技術が身についている。			2次元及び3次元CADの基本操作技術がおおよそ身についている。		2次元及び3次元CADの基本操作技術が身についていない。	
評価項目(イ)	発想、コンセプトが豊かである。			発想、コンセプトが形成できる。		発想、コンセプトが形成できない。	
評価項目(ウ)	3次元C A Dの特性が発揮された作品である。			3次元C A Dの特性がおおよそ発揮された作品である。		3次元C A Dの特性が作品に発揮されていない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B1 数学・自然科学・情報技術の基礎を身につける JABEE c 数学及び自然科学に関する知識とそれらに応用する能力 JABEE d 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらに応用する能力 本校教育目標 ① ものづくり能力 本校教育目標 ② 基礎学力 本校教育目標 ③ 問題解決能力 本校教育目標 ④ コミュニケーション能力							
教育方法等							
概要	3次元CADの操作技術を習得し、建築設計における高度な作図・プレゼンテーション技術を身につける事を目標とする。課題は前後半の2課題とし、いずれも全国レベルの設計コンペティションを課題テーマとする。最終的にC A Dによるドローイング・プレゼンテーションを作成する。基本的な操作・作図にとどまらず、高度な表現技術の習得への試みを求める。						
授業の進め方・方法							
注意点	履修にあたっては、本科等において、Vector Works等の3次元C A Dソフトの基本的操作を習得していることが望ましい。						
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	第1課題ガイダンス：課題説明（課題の意図、設計課題の中での位置づけ、敷地、構造、規模、提出物、スケジュール）			上記（ア）（イ）（ウ）	
		2週	エスキース（スケッチ、模型作成）、各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換			上記（ア）（イ）（ウ）	
		3週	エスキース（スケッチ、模型作成）、各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換			上記（ア）（イ）（ウ）	
		4週	エスキース（スケッチ、模型作成）、各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換			上記（ア）（イ）（ウ）	
		5週	3次元データ入力・チェック			上記（ア）（イ）（ウ）	
		6週	3次元データ入力・チェック			上記（ア）（イ）（ウ）	
		7週	3次元データ入力・チェック			上記（ア）（イ）（ウ）	
		8週	講評会：各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表、学生からの質疑			上記（ア）（イ）（ウ）	
	2ndQ	9週	第2課題ガイダンス：課題説明（課題の意図、設計課題の中での位置づけ、敷地、構造、規模、提出物、スケジュール）			上記（ア）（イ）（ウ）	
		10週	エスキース（スケッチ、模型作成）、各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換			上記（ア）（イ）（ウ）	
		11週	エスキース（スケッチ、模型作成）、各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表し、意見交換			上記（ア）（イ）（ウ）	
		12週	3次元データ入力・チェック			上記（ア）（イ）（ウ）	
		13週	3次元データ入力・チェック			上記（ア）（イ）（ウ）	
		14週	3次元データ入力・チェック			上記（ア）（イ）（ウ）	
		15週	講評会：各自で設計意図・工夫点・プレゼンテーションの意図などを発表、学生からの質疑			上記（ア）（イ）（ウ）	

		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	課題		課題	合計
総合評価割合	50		50	100
専門的能力	50		50	100